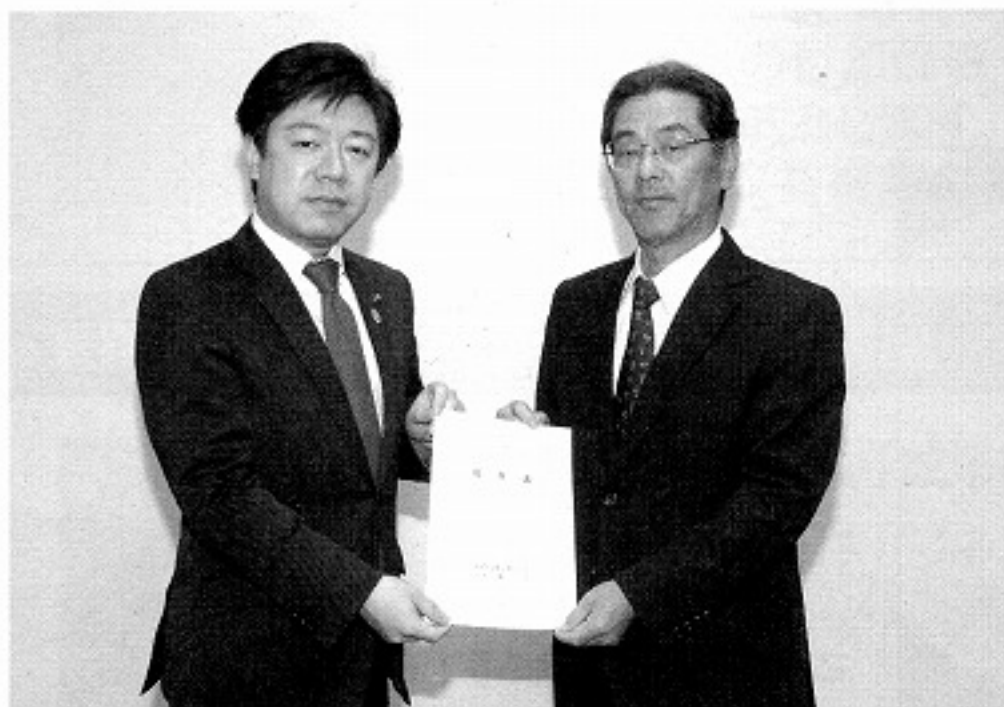


小牧市への要望に対する回答書が提示される

昨年10月18日に、当所より山下市長と川島市議会議長へ提出した要望書に対する回答書が、4月17日に小牧市より提示されました。回答書の内容は以下の通りです。(要望内容の詳細は今年の所報11月号に掲載しておりますのでご参照下さい。)



▲山下市長より回答を受け取る成瀬会頭(右)

なお、今後、関係委員会や関係部会にて回答内容を吟味し、必要に応じて小牧市関係部局と協議の場を設けるなど、フォローして参ります。

1. 環 境

中小企業ISO認証取得後の制度更新等に対する経費助成について

平成12年度から中小企業を対象にISO認証取得助成を行い、平成24年度までに190件のISO認証取得助成を行いました。昨今の申請状況を見ますと平成23年度2件、平成24年度2件と減少をしています。また、過去にISO認証取得の必要性から、助成を受け取得した企業におきましても、現在の経済状況の悪化からISOの更新審査費用が負担となり、更新を受けていない企業が多くみられます。このことから小牧市におきましては、平成25年度より中小企業のISO認証更新助成金として、3年ごとの更新審査費用に係る経費の4分の1を助成することといたしました。この助成制度の施行期間につきましては、現在認証を受けている企業が、一度は助成が受けられるよう3年間の措置を予定しております。

エコ環境づくりの推進

要望いただきました小牧市内の公共施設の太陽光発電・LED照明等の導入につきましては、CO2削減を目的に市内の公共施設に太陽光発電システムやLEDなどの照明灯の導入を推進しております。平成24年度につきましては、小牧市新庁舎、味岡児童館、小木保育園、下小針会館、味岡保育園に太陽光発電の導入を行い、小牧市新庁舎、小牧原西会館、味岡児童館、小牧小学校の体育館・プール、東庁舎、その他公園灯や防犯灯にLED等の照明を導入しました。今後も、積極的に太陽光発電・LEDなどの照明灯を導入してまいります。

事業者への補助金制度の創設につきましては、現在策定中の産業振興基本計画の中で企業の環境問題の取り組みに対する支援について検討していきたいと考えています。

2. 地域活性化・産業振興

桃花台線廃線後の整備方針の早期決定について

これまで、橋脚等の既存インフラ構造物については、所有者である県が中心となり利活用の検討を行ってきましたが、なかなか進展が見られない状況でありました。そのため、インフラ所有者である県に対して早急に結論を出していただくよう機会あるごとに働きかけを行ってまいりました。こうした中、県より、国道155号バイパス区間につきましては、引き続き、小型車用道路として検討を続けていくこととし、バイパス区間以外の区間につきましては、インフラを撤去し、駅前広場や自転車歩行者道などに利用することとし、その整備の手法や時期については今後検討していくとの方針が示されたところであります。県では、今後、早急に必要な検討・調整を行い、準備が整い次第、概ね7月ごろを目処に、市民の皆様へ桃花台線インフラの利活用方針等について、説明する機会を設けていきたいとの意向を聞いています。なお、市としましては、今後、本方針に基づき155号バイパス区間の整備も含め

て早期に実施されるよう、県に対して働きかけを行っていき考えです。



▲既存インフラの整備計画区間

中心市街地空き店舗対策について

中心市街地における空き店舗等の低未利用地につきましては、中心市街地活性化を妨げる要因となることから、対策が必要であると認識しております。平成22年度より小牧にぎわい隊が行うチャレンジショップへの補助事業を行うとともに、平成23年11月には、中心市街地の空き店舗に新たに开店する事業者に対し、家賃と改装費の一部を補助する制度を創設して以降、平成25年3月までに、この制度を利用して4店舗に開業していただいていることから、一定の成果が出ていると考えております。また、空き店舗の状況につきましては、貴所職員にもご協力をいただき、目視により、定期的に確認しておりますが、平成25年度においては一歩踏み込み、まずは地権者・建物所有者の意向を把握する実態調査を実施致します。その結果を踏まえて、今後の空き店舗対策を検討していきたいと考えております。

3. 雇 用

新卒者等若年者を積極的に採用する中小企業への小牧市独自の支援策・助成策の創設について

小牧市では現在2ヶ月に一度「若年者就職相談窓口」を行っており、本人を問わず、家族等の相談を受付けています。また、求職者支援セミナーを年6回行い、「職業適性検査」や「(好印象を与える)面接の受け方」等のテーマで求職者に対して就

職に向けての支援を行っています。若年者の地元中小企業への就職は小牧市にとっても有益と考えていますので、商工会議所、春日井市と共催で行っている就職フェアを2回開催するなかで、地元中小企業のブースを出展することにより若年者の地元企業への就職をサポートしています。平成25年度も小牧市においては、その時世にあった内容での支援セミナーの開催や、より多くの方、多くの企業が就職フェアに参加していただけるよう工夫をしていき、新卒者・若年者のみならず、すべての求職者の方が就職しやすい環境が作れるよう努めていきます。

4. 観 光

観光資源の保全

・「清流亭の藤」につきましては、昭和36年に愛知県の天然記念物として指定がされました。指定にあたっては、藤そのものが貴重であるという理由ではなく、清流亭とともにある藤として、歴史的な意味合いを含め指定がされております。現在、清流亭については営業をされなくなったことから、地権者の方が管理者となりますが適切な管理がされないまま現在に至っております。昨今、局地的に短時間に強い雨が降ることが多くなり、用水内の板根状の枝や藤棚の支柱が適切な管理をされないまま放置されると、急な増水時の障害になるのではないかと、ということも危惧されます。古くは、地域を代表する名所として盛況を呈した「清流亭の藤」ですが、管理には年間を通じて細かな対応が必要であることや、建物が耐震基準を満たしているか、周辺環境の状況はどうか、といった点を考えると市全体での詳細な検討が必要と考えております。

・「清流亭の藤」を観光公園などを整備し観光資源として活用する方法につきましては、先の回答のとおり、多くの課題が含まれており難しい状況ではありますが、庁内の関係課において検討を行いたいと考えております。

観光まちづくりとしての取り組み

①小牧駅前観光案内所につきましては、観光情報の収集・発信の拠点として、昨年7月に設置したも

のです。おかげさまで、開所以来、来訪者の方々にご好評をいただいております。また、観光案内所では、来訪者への案内だけでなく、積極的に市内の観光情報の収集・発信に努めており、さらに、12月からは情報発信力を強化するため、小牧市観光協会のフェイスブックページを活用し、情報の双方向性を生かし、イベント情報や日ごろの活動状況などを提供するなど、さまざまな展開を図っております。平成25年は、織田信長公による小牧山城築城450年の記念事業に取り組んでおり、観光案内所への来訪者や問い合わせが増えることも予想されます。あわせて、観光協会の事務局の自立化も求められていることから、5月1日に観光案内所を名鉄小牧ビル1階の空き店舗（旧名鉄観光跡地）に移設をする予定です。また、観光土産の販売につきましては、観光協会において平成24年度から設置しました推奨品分科会におきまして、観光案内所等における販売方法・仕組み等を検討しているところであります。

②本市では、公共施設や利用者の多い施設などを対象とした案内看板として、平成12年度に策定した小牧市サイン計画に基づき、小牧山をデザインした誘導サイン等の整備を進めています。このサイン計画では、対象となる施設を重要度や利用者等によりランク付けし、効果的な配置となるよう配置計画を定めており、施設名称については、日本語と英語で表記することとしています。観光資源への誘導看板につきましては、今後、観光まちづくりを進めていくなかで、検討してまいりたいと考えております。

③市道宮前4号線の一方通行規制の解除につきましては、小牧警察署との協議が整い、平成25年1月28日より相互通行での供用を開始したところであります。また、同路線の景観整備については、電線類の地中化等により、安全で快適な歩行者空間の確保、都市景観の向上などを小牧山までの区間で実施していきます。



▲相互通行となった市道宮前4号線（小牧駅前線）

小牧の魅力PR

①小牧の観光については、「広報こまき」の紙面やホームページなどで発信するとともに、昨年11月1日から開始した市の公式ツイッターや、平成23年度から配信を行っているユーチューブなど、新たなツールを活用した発信に努めています。これらについては、広報こまきなどの紙面において周知徹底を図り、フォロワーやアクセス数の増加を図っています。また、本年1月1日号より毎月1日号の広報こまきの裏表紙を活用し、小牧山城築城450年に関連した記事の掲載を行うことにより、観光行政のより一層の推進に努めています。小牧の観光まちづくりは、まさに小牧山城築城450年記念事業を契機に始まります。すでに、テレビ番組を始め多くのメディアに取り上げていただいておりますが、2月に450年専用ホームページを開設したのをはじめ、名古屋おもてなし武将隊初代織田信長役の「憲俊」さんに観光大使に就任いただき、PRを展開しているところであります。また、3月には、広告代理店と築城450年記念事業の情報発信について委託を行ったことから、今後、さらにメディア等への情報発信、積極的な広報・PR活動の展開を図って行きたいと考えております。

②今年度からは、小牧の様々な魅力について、「市民レポーター制度」や「市民活動団体との連携によるフェイスブックを活用した市政情報等の発信」など、市民と行政の協働による情報発信を行っていきます。このような取り組みを通じて、市民とともに手を携えながら、小牧の魅力を市の内外に広く発信していきたいと考えております。来訪者に小牧市に来てよかったと思っただくには、小牧市民がおもてなしの心を持つことが必要であると考えております。450年記念事業を広くPRすることを通じまして、小牧市民が小牧に愛着と誇りを感じていただくことにより、そういったおもてなしの心も生まれてくるものと考えております。また、小牧市観光ガイドボランティアの養成を昨年の秋から行ってまいりました。今年度の早い時期には希望者にガイドを行う予定であり、観光案内所の充実に合わせて、来訪者へのおもてなしの体制も整えていきたいと考えております。

観光の取り組み体制

小牧市の観光まちづくりにつきましては、その方向性や推進体制など、今後、様々な関係者の検討・

協議のもと、推進していくことが必要と考えております。小牧市観光協会につきましても、設立以来、商工観光課内に事務局をおいておりますが、会長をはじめ、理事には事業者をはじめ、様々な観光関係者にご就任いただいております。昨年度、活性化を目指し、理事・会員が自ら課題等を検討する分科会を設置するなどの取り組みを行っています。さらに、今年度においては、先にお答えしたとおり、5月1日に小牧駅前観光案内所の移転を予定しており、これにあわせ、事務局を商工観光課から観光案内所へ移すとともに、人員を増やし体制の強化を図ることで、事務局の自立化を推進してまいります。また、観光事業は様々な分野の関連する産業であり、事業者の方々の協力が不可欠であることから、小牧市としましても商工会議所と更なる連携を図っていかねばならないと考えております。

5. 道路河川整備について

①市道における交通事故危険箇所の対応については、過去3ヶ年で人身交通事故2件以上の多発交差点を抽出し、カラー舗装等の交差点改善対策を平成23年度から小牧警察署と連携し進めており、平成24年度は11箇所の対策を行い、平成25年度は18箇所の同様な対策を行う予定です。国道155号及び県道との交差点については、「愛知県事故ゼロプラン」により、事故多発交差点のカラー舗装による対策を平成23年度に小牧山西交差点及び市民会館北交差点の2ヶ所実施しており、平成25年度に自才前交差点を1ヶ所実施予定です。今後も交通事故危険箇所の対策を愛知県に要望していきます。

生活道路における交通安全対策については、ゾーン内の通過交通や自動車の走行速度を抑制することを目的として、最高速度30kmの区域規制を行う「ゾーン30」を平成25年度から平成29年度までの5ヶ年で3箇所の区域を小牧警察署と連携し実施する予定であり、平成25年度は小牧市大字本庄地内を実施します。その対策としては、主要交差点にカラー舗装等の交差点改善を実施したり、路側帯にドットマーク(速度抑制を促す破線の区画線)の設置を行うことで自動車の走行速度の抑制を図ります。

・平成24年5月に市内25小中学校における通学路

緊急点検を行い、その結果については市内各課に情報共有をはかりました。また8月には文部科学省・国土交通省・警察庁の指示のもと、各学校、教育委員会事務局、道路管理者、警察署による市内16小学校の緊急合同点検を行い、10月にその対策案検討会を開催し、その対応策のひとつとして、平成25年度には通学路のカラー舗装化を5ヶ所で実施します。これとは別に、学校から希望箇所としてだされている6ヶ所と合わせ、平成25年度に市内11ヶ所でカラー舗装化を実施します。このことにより、運転者及び歩行者に通学路の認識を持っていただき、児童生徒の安全の確保に、より一層取り組んでいきます。

②・要望いただきました防犯灯の設置につきましては、地域の犯罪、交通事故の防止、その他住民の安全を図ることを目的に、市内128の行政区が設置・維持管理する防犯灯の補助金を交付しております。要望にありますような夜間に犯罪などに巻き込まれる危険性のある暗い道については、地元区とともに設置を検討してまいります。また、防犯灯を設置する際には、維持管理上の考えから隣接する防犯灯と25メートル以上の間隔をあけて設置していただくようお願いしておりますが、公共交通機関のバス停周辺において必要と認められる場所については、柔軟に対応してまいります。

・道路照明灯(街路灯)の設置につきましては、夜間の交通事故防止を目的として、現在、道路構造基準及び地元区の申請に基づき、主要交差点、橋梁、横断歩道橋等に設置しております。今後も夜間の交通事故の多い交差点等については、地元区及び小牧警察署と連携し整備を進めていきます。

③下末地区における浸水被害の抜本的な解決策は、新木津用水路(薬師川)の改修及び新木津用水路に起因する新川、針川の改修であります。新木津用水路改修については、現在、東海農政局において改修事業着手に必要な変更計画の事務手続きを平成25年から進めております。小牧市におきましても近隣市町と協力し、関係機関に対し早期の改修要望を強く行っております。新川、針川の改修につきましても新木津用水路の改修と調整しながら進めることで浸水被害の軽減を図っていく予定です。